

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子

発行者：校長 岡田 達也



～ えがお かがやき がんばる 学校 うえんだん「チーム北川」～

自分で考え、判断し、行動する!

保護者のみなさんをご承知の通り、本校として育てたい子どもの姿、つまり、本校の教育目標は、『たくましく生きる児童の育成』です。「たくましく生きる児童」とは、具体的には「やさしい子」「考える子」「元気な子」「やりぬく子」の四つの姿（目指す子ども像）を指しています。つまり、本校として育てたい子ども像は、「誰にも優しく、きちんと考えて行動し、元気に、何事もやり抜こうとする子ども」となります。残念ながら、本校の子どもたちの姿は、まだ十分とは言えないのが正直なところです。

それでは、学校や家庭が取り組まなければならないことは何でしょうか。私は、子どもたちに「自主性」や「主体性」を育てていくことだと考えています。「自主性」は、自分のやるべきことを人から言われずに自ら進んですることです。それを育てるには、「適切な目標」と「その達成感」が欠かせません。一方、「主体性」は、自分で考え、判断し行動する（自分の意志で行動する）ことです。それを育てるには、①「自分の状況をきちんと理解する」（自分の置かれている立場＝すべきこと、周囲の期待など、を客観的に理解する）、②「自分で判断する（決める）」、③「行動する」といったことが欠かせません。

学校では、子どもたちの自主性と主体性を育てるためにも、自分で考え、判断し、行動する機会を大切にしていけます。誰かが気づいて、周りの子に「〇〇しよう!」と誘う（提案する）ことができれば、その気づきは広がり、行動へと変わっていきます。それを継続していく中で、子どもたちにとって「当たり前」のことになります。

こうした力は、学校や家庭での学習や生活に大いに役立ちます。2学期は、こうした力を育てていきたいと思えます。ご家庭でも、すぐに指示するのではなく、お子さんに「考え判断する」機会を設けていただければ幸いです。少し時間や手間はかかりますが、子どもたちの自立のためには、たいへん重要なことです。



真剣に話を聞いています!



きれいにそうじをしています!

初日ショット「やる気満々!」



きれいに整列しています!



楽しく本を選んでいきます!